で生み出されたからです。特別な思いの理由は、聖火の種火が、自分たちの手開会式を特別な思いを持って、見守っていました。この夏、私たちは、東京2020パラリンピックの

た。 フリー では、たくさんの利用者の方、職員の手で、たいの仲間の思いが「つながった」瞬間でもありました。 社にの人民に特別な感情を持って、その極上のになったことは、種火に込められた種火と合流した。 私たちの小さな種火は、パラアスリートを照けた。 社にの成長に特別な感情を持って、その極上のれた種火の成長に特別な感情を持って、その極上のれた種火の成長に特別な感情を持って、その極上のれた種火の成長に特別な感情を持って、その極上のれた種火の成長に特別な感情を持って、その極上のは、一方月上旬、たくさんの利用者の方、職員の手で、

ました。人とのかかわりが制限される中で、見えなこの1年、私たちは見えないものと向き合ってき

支えてくれました。くても、たくさんの仲間の「つながり」が私たちを

の特別な「つながる」エピソードでした。は、永遠に消えません。私たちだけの、この夏だけ聖火を通して、その火の向こうに見えたつながり



## 〜みんなが地域のドクター〜

松 JII 哲子

れた。 けに、 らし続けられることを願って。 で結べないだろうか」その思いで立ち上がった 令和二年に市社協が開催した研修会をきっか た。「このままでは、地域が弱る…」 危機感の中、 が制限され、 住民同士助け合いと思いやりの心を持ち、 がお揃いのマスクを着用し、地域に愛着を持ち、 正しく恐れる。自分たちの地域を今一度強い絆 「北郷町マスクづくり委員会」。北郷町全住民 令和二年、新型コロナウイルスにより、 地域住民で今後について話し合いが持た 「新型コロナウイルスを正しく理解し、 今まで取り組んできた様々な活動 身近なサロンも開催できなくなっ 地域 暮

取り組み、 民からボランティアを募り、サロンでも作業に 関わりや関心を持っていただけるかを念頭に住 その過程においていかにたくさんの地域住民に ~マスクを作る<br />
ことだけが目的ではなく、 学校や若い世代の親子にもデザイン

> ど、全住民が参加できる仕組みを考え、 域の力強さを、優しさを、 現在進行形だが、この取り組みを通して、 ていたが、今年中に完成する見込みとなった。 ワーが集結し、当初三月までの完成を目指し 次第にみんなが講師となり、たくさんの住民パ 提供してくださり、地域の中で講師を見つけ、 民のパワーはすさまじく、地域の機業が生地を いこう〟焦らず、ゆっくりスタートしたが、住 組んできた。一人ひとり、できることをやって 連れが参加しやすい休日に作業日を設けるな を呼びかけ、 男性が参加しやすい夜に、 温か



に携われた私は幸せだ。

心の中でニンマリしている。

やるな、

北郷町!」そう思い



を再認識させられた。「なかなか

さを、人が人を思いやる気持ち







